

2016年10月3日

## 東洋新薬 東京大学との連携協定締結について

株式会社東洋新薬(本社:福岡県福岡市、本部:佐賀県鳥栖市、代表取締役:服部利光)は、2016年10月3日に東京大学本郷キャンパス内において、国立大学法人東京大学との連携協定の締結式を執り行いました。

株式会社東洋新薬は、2016年10月3日、東京大学本郷キャンパス内におきまして、東京大学産学協創推進本部 渡部本部長出席の下、連携協定の締結式を執り行いました。

株式会社東洋新薬は、地域経済の活性化など様々な事業活動を通じて積極的に社会貢献に取り組む企業理念のもと、これまで2011年に熊本県、2012年に佐賀県、2013年に北海道及び愛媛県、2014年に秋田県及び福岡県と包括連携協定を締結し、道県のPR活動や産業振興に取り組んできました。

この度の東京大学との連携協定では、健康食品、化粧品等の新規機能性素材、製剤技術の開発及び実用化に関する研究を通じて、健康食品、化粧品等の新たな市場を創造し、一億総活躍社会を実現するための連携・協力を掲げており、引き続き社会貢献に取り組んで参ります。



【服部社長(左)と渡部本部長(右) 協定締結式の様子】

### ■ 協定書:記載事項

- (1)健康食品、化粧品等の新規素材開発及び製剤技術開発とその実用化に向けた共同研究の推進
- (2)若手研究者育成のための支援
- (3)その他本協定の目的を達成するために必要と認められる事項

## 《 株式会社東洋新薬に関して 》

東洋新薬は、「これまでの常識や固定概念にとらわれない健康食品や化粧品、医薬品を創り、世界へ送り出す」という志を社名に込めて1997年に創業した健康食品・化粧品・医薬品のODMメーカーです。健康食品・化粧品・医薬品の受託製造にとどまらず、事業全般に亘るコンサルティングや商品企画から商品設計、処方開発、製造、販売促進までトータルにサポートし、豊富なノウハウを活用してお客様の様々なご要望にスピーディにお応えしております。エビデンス豊富なビタミンCの600倍の抗酸化作用を持つ松樹皮抽出物『フラバンジェノール<sup>®</sup>』をはじめとする高機能性素材の研究開発にも注力しています。また、特定保健用食品(トクホ)の許可取得数は275件と日本一(2016年4月現在)で、そのノウハウを活用した独自のCRO事業(トクホ開発と臨床試験受託)を展開しています。また、製造工場は国内 ODM メーカーとして初めてcGMP(ダイエタリーサプリメントの製造、包装、表示及び保管において適切な管理を行うための米国 GMP)に準拠した工場であり、健康補助食品 GMP、ISO9001:2008、ISO22000:2005 といった各種認定・認証も取得しており、国際レベルの水準をクリアした品質管理体制を構築しています。詳しくは、[www.toyoshinyaku.co.jp](http://www.toyoshinyaku.co.jp) をご参照ください。

## 本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社東洋新薬 広報室  
〒100-0011 千代田区内幸町 1-1-7 NBF 日比谷ビル  
Tel : 03-5501-7788 Fax : 03-5501-7789  
Mail: [koho@toyoshinyaku.co.jp](mailto:koho@toyoshinyaku.co.jp)

※ 『東洋新薬』のブランドロゴ、『フラバンジェノール』、及びそのブランドロゴは、株式会社東洋新薬の登録商標です。